

第 1 回 薬局薬剤師と共に考える認知症支援 ～支え合える地域を目指して～

平成 28 年 8 月 24 日 in 白井市保健福祉センター 研修室

今年度最初の在宅医療介護連携研修会を開催いたしました。今回は、市内調剤薬局に従事する薬剤師の方を対象に、認知症についての理解を深めていただき、地域に暮らす認知症の方へのよりよい支援につなげていくことをねらいとして、研修を行いました。

講義では、セコメディック病院で認知症看護認定看護師として活躍されている伊藤美雪氏を講師に招き、「認知症サポーター養成講座～薬剤師向けバージョン～」としてお話ししていただきました。実際に薬局での患者さんとのやり取りを演じた寸劇も交えて、とても分かりやすく、すぐに現場で活かせる対応を教えてくださいました。

グループワークでは、日頃の業務で認知症の方への対応で工夫していることや多職種を巻き込んでいくための提案などを話しあいました。

参加してくださった 13 名の薬剤師の方々、ありがとうございました。

≪ 第 1 部 認知症サポーター養成講座

～薬剤師さんバージョン～ ≫

セコメディック病院 認知症看護認定看護師 キャラバンメイト
伊藤 美雪 氏

認知症について学ぶ前に、講師からの問いかけが…

「あなたは、今後どのような老後を送りたいですか？」
参加者からは、「家族に迷惑かけたくない」「健康で生き生きとした生活を送りたい」といった声がかけられました。

「認知症の方も、きっと同じ思いを持っている。その方の
思いを尊重し・自尊心を傷つけない配慮が大切！」

＜認知症の症状とその対応について＞

- ・ 脳の機能を理解することで、認知症を引き起こす疾患ごとの症状への理解が深まり、進行に伴う症状の予測もできる。
- ・ 中核症状は、脳の細胞が壊れ、機能が失われたことにより起こる症状であり、認知症の誰にでも起こる症状。
- ・ 行動・心理症状は、中核症状により生活上の困難にうまく適応できない場合に本人の性格・環境・身体要因が加わって起こる症状であり、個人差のある症状。
- ・ 介護者の気持ちを理解しましょう。介護する家族が楽になる対応のヒントを教えてくださいました。
- ・ 認知症の人への対応で心がける “3つのない”
「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」

セコメディック病院の職員 4 名の方々が、薬局薬剤師の認知症の方への対応方法などを、寸劇で演じてくださいました。



認知症の方の自尊心を傷つけないような配慮をするベテラン薬剤師さん役の演技!!



《 第2部 グループワーク 》

テーマ「薬剤師として、認知症の方への対応について」

●認知症の方への対応で困っていること

- ・記憶力の低下に伴う言動への対応
「おつりをもらっていない」「薬が足りない」など
- ・ご本人が薬局に来ないので、薬の飲み忘れや副作用等の状況が把握できない。
- ・飲み忘れ対策をいろいろ提案するが、「大丈夫」「いない」と断られてしまうことがある。



●飲み忘れ予防の工夫

- ・お薬カレンダーの利用
- ・お薬ボックスの利用
- ・日付入りの一包化
- ・薬袋に朝・昼・夕で色付け
- ・(理想だけど...)家に行きたい。その方の生活の様子に合わせて、いろいろ提案できるので。
- ・一日分(朝・昼・夕)ごとの分包化

●認知症の方への対応で工夫していること、これから心がけたいこと

- ・大事なことはメモして渡す。
- ・まずはゆっくりとご本人の話を聞く。
- ・ゆっくり話をする。簡潔に話すように心がけている。
- ・ご本人とご家族の両者に対して、お薬の説明をする。
- ・笑顔で、お顔を見ながらお話しする。
- ・同居の方がいるのか、ご本人を支えるキーパーソンの有無についての情報収集を行っている。
- ・地域包括支援センター等の相談先の紹介を行っている。

●今後、認知症の方への対応について、どのように多職種を巻き込んでいきたいか

- ・薬剤師がもっと在宅の現場に入り、生活状況の確認もしていく。飲み忘れの対応や副作用の把握などが行える。他の職種ともつながりやすくなる。
- ・情報共有ができる場を作りたい
- ・他職種の仕事内容を理解したい
- ・他職種との合同研修や話し合い
- ・介護職と医療職との連携
- ・専門職以外にも近所の人やお店の人などの理解や協力も必要。

《 第3部 白井市の認知症施策における取り組み紹介 》

毎年9月は
「認知症予防普及啓発
月間」と定めて、様々な
イベントや講演会を開催

認知症の相談拠点を
増やすための取り組み



認知症資源マップの発行、
認知症ケアパス作成
に向けた検討会の開催

認知症サポーター
養成講座の開催

認知症カフェの開催や
認知症の家族会への
支援

在宅医療介護連携を推進していくために、今年度も多職種連携研修会を開催します。
次回は、10月を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。